

学校関係者評価報告書

I 重点目標について

令和4年度重点目標
本校の教育目標の達成を実践するべく、教員の人間力・技術力・授業力などを把握、ブラッシュアップして業界に求められる人材を教育、育成する。 また、より良い教育環境をつくり、より多くの学生が自己の目標を達成出来るよう学級運営を充実させ、在校生全員の満足度の向上を目指す。 満足度の高い学校生活を送ることで進路意識を高め、切磋琢磨することが出来る承認レベルの高い学校運営を目指す。 学生が安心して学べる学級環境をつくり、人間関係等のトラブルによる退学者が出ないようにする
達成計画・取組方法
<ol style="list-style-type: none">1 技術の勉強会や、授業研究などを用い向上を図る。2 授業評価制度や専門技術の確認システムを有効に推進する。3 最新の業界に関する情報を教職員で共有し学生へと伝える。4 ホームページに加え、インスタグラム等 SNS で活動内容を公開していく。5 ハイパーQU を導入し、学生一人一人の心理状態を把握する。6 当校学生が積極的に行っているフォトシューティングによる写真作品づくりを、クラブ活動として援助しレベルの向上を目指す。7 良い人間関係を活性化させるべき手段として、全ての教員がグループエンカウンター技術の習得を目指していく。8 昨年度より在校生全員を対象にピアヘルパーの資格取得を目指し、教員全員が資格を取得したが臨んだ結果が得られなかった。 反省を活かし対策を講じる。9 全教室に設置されているスマート V ボードの特性を十分に活かし、よりわかり易く効果的な授業を運営していく。
学校関係者評価
学生満足度向上のための様々な取組みは評価できる。教育活動と学生支援に力を入れ学生の技術的なレベルアップを進めていくと同時に、社会に出てからも役に立つ人間関係力を高める教育プログラムの一環として資格取得を目指すことは評価できる。引き続きソフト面で選ばれる学校となるための更なる取組みを期待する。また、V ボードなどの IT ツールを授業で使用させていくことは、これからの時代に必要で有益なものとする。

II 各評価項目について

基準1 教育理念・目的・育成人材像

自己評価	学校関係者評価	改善方策
<p>本校の理念・目的・育成人材像については、わかりやすく、具体的に示しており、学生・教職員にもよく周知徹底されている。学外への公表は、主に学校案内パンフレット・ホームページで行っているが、大変好評であり、今後もコンテンツの充実を図っていく。</p> <p>『礼儀・責任・融和』を身につけられる環境づくりを続けていく。</p>	<p>適切に対応している。今後も更なる向上に努めて頂きたい。</p>	<p>業界が求める人材像、時代に合った人材像をキャッチし、カリキュラムの見直し、実現性を的確に行っていく。</p> <p>また、必要に応じて教員の技術は勿論、業界の現状の知識のレベルアップを計っていく。</p> <p>教職員が『礼儀・責任・融和』を念頭に学校生活をサポートする。</p> <p>授業公開やワセビ祭など、保護者が参加できるイベントなどを行うと共に、情報は SNS 等でも周知していく。</p>

基準2 学校運営

自己評価	学校関係者評価	改善方策
<p>学校の目的は基準1で示したとおり明確に定められ、学校運営方針も校長を長とする課長級以上の教職員で構成する幹部会で策定されている。意思疎通を図るため毎朝会合を行っており、決定事項については口頭による伝達が主となっている。</p> <p>事業計画のうち、財務に関しては策定されている。</p> <p>運営組織図は明確に定められており、意思決定機能は、幹部会が掌握しており効率的に意思決定がなされている。</p> <p>人事や賃金での処遇に関する制度は整備され、職員のやる気や能力を適切に評価する体制ができている。評価シートや評価結果の一覧表などのフォーマットは完成している。</p> <p>ほぼ1人1台パソコンが配置され、教務の情報や広報の学生募集に関するデータは管理されており、業務効率化のための情報システムは整備され</p>	<p>概ね適切に対応できている。時代の流れに遅れを取らぬよう、あらゆる面で整備を進めていく必要がある。</p>	<p>教職員の業務効率化と IT 化が進む新時代に対応した学校運営に向けて、校内システムインフラの更なる向上を進めていく。</p> <p>また、システムのセキュリティ強化と校内の情報管理についても重要課題として対応していく。</p> <p>また、建築物および校内設備においても、老朽化した設備や機械の点検と更新に力を注ぎ、安全で清潔な教育環境の構築をすすめていく。</p> <p>教職員のスキルアップやキャリアアップを目的とした研修を取り入れている。校内における研修制度やスキルアップのプログラムを教育システムとして確立していく。</p>

<p>ている。</p> <p>学校の情報提供については、ホームページや SNS を通じて発信している。教育理念や法人概要、シラバス等も掲載している。2021 年度より校内システムの整備を進め、ネット環境の充実や学生向けに電子ボード（スマート V ボード）等を導入し、教育活動においても有効な IT ツールを取り入れている。</p>		
---	--	--

基準3 教育活動

自己評価	学校関係者評価	改善方策
<p>国家試験課題と現場に望まれる技術とのバランスを考えて、カリキュラムを作成している。</p> <p>美容室の割合に対しての人材確保ができていないのが、今現在の美容界の状況である。シャンプー、カラーなどアシスタント時の業務に役立つようなカリキュラム作りを行い1日も早く技術者として活躍できるよう考えている。</p> <p>国家試験課題は、特に学科の苦戦が予想されるため1年時よりマークシートを使い国家試験と同じ条件での模擬試験を行っている。これによりマークシートの記入ミスや、各個人が自分の苦手課題が何であるか明確になり、今後何をすべきかなど学生自身ができるようにしている。</p> <p>キャリア教育を行う上で業界の特色と時代背景を反映したものでなくてはならないため、技術者としてだけでなく、社会人としての教育も必要である。</p>	<p>概ね適切に対応している。社会人教育は重要であり、技術だけでなく常識やマナーも含めた教育が必要である。</p> <p>令和3年度の国家試験の合格率は非常に素晴らしいものと考えている。</p>	<p>学生の学力・技術レベルに応じた授業を教務会議で検討する。</p> <p>外部講師からも意見を上げてもらい、積極的に授業に組み入れて行く。</p> <p>模擬試験の結果を踏まえてフォロー講習対象者を確定する。</p> <p>キャリア教育としての業界の話や社会人としての常識・マナーの教育も進めていく。</p>

基準4 学習成果

自己評価	学校関係者評価	改善方策
<p>毎年の資格取得者数を比較検討し、資格試験対策を行っている。試験に対する意識の低い学生に対しては放課後のフォローを実施している。</p> <p>目標達成と生徒指導の充実を図るため、毎日全職員で朝礼・終礼を行い、学生の状況を報告し合い、必要に応じて早めの情報収集と教育相談等にあたり必要な指導を行っている。</p> <p>学生から上がってくる様々なイベント企画を企画書の作成から指導して実行まで導いている。これにより企画運営力のある人材育成を目指す</p> <p>なお、令和3年度の国家試験では、合格率100%を達成した。</p>	<p>概ね適切に対応できている。学生に主体性もたらずことは良い効果をもたらす。今後も学生個々のモチベーション向上にプラスとなる取り組みに期待する。</p> <p>令和3年度の国家試験の結果は大変素晴らしいものと考えている。</p>	<p>指導方法と正答率との関連性を調査する同窓会や各学科教員の協力体制を強化し、常に新しい情報収集することを心がける。</p> <p>近年増加傾向にある業務委託契約と雇用契約との違いなど、働き方に関する教育が課題。</p> <p>令和3年度の国家試験に表れたような、大きな成果をもたらす指導方法を今後も進めていく。</p>

基準5 学生支援

自己評価	学校関係者評価	改善方策
<p>就職支援に関する体制は整備されており、求人に関する最新情報の学生への伝達、説明会や面接の申し込み等の企業への連絡もスムーズに行われている。活動状況を就職課で把握している。</p> <p>学生相談に関しては担任、学年主任、部長等で連携を取りながら行っている。今後は留学生にも相談しやすい環境づくりをしていく。</p> <p>経済的な問題を抱える学生に対しては、奨学金の利用ができるよう取り計らっている。また希望者には分納にも応じている。</p> <p>学生の健康管理は学校として年1回の健康診断を行っている。普段より病気予防のための指導をクラスで行っている。</p> <p>地方からの入学者に対しては親身に住居の相談にのり、学生寮・アパート等の紹介を行っている。</p> <p>出席状況に問題が生じた学生に関してはいち早く保護者への報告を行い、状況によっては、保護者との面談も行っている。</p>	<p>概ね適切に対応している。今後も更なる向上に努めて頂きたい。</p>	<p>学校生活に対する学生の満足感や充実感を上げ、安心して学校生活を送れるよう新たに『hyperQU』（アンケート）を実施し、学生一人ひとりの傾向や問題点などを各担任が把握している。</p> <p>学校公式のSNSを学生にフォローさせて、災害時の伝達を配信している。</p> <p>全学生の保護者にもポータルサイトに登録してもらい、緊急時以外の連絡事項なども一括で送信できるシステムを導入した</p> <p>新たにピアヘルパーの授業を取り入れ、教員、学生全員が資格取得を目指している。</p> <p>令和4年度の授業公開は、通常通り授業公開と就職説明会を実施)</p> <p>日本教育カウンセラー協会認定のスクールカウンセラーが常勤し、精神的なサポート体制を整えている。</p>

基準6 教育環境

自己評価	学校関係者評価	改善方策
<p>充実した施設・設備に恵まれ、授業カリキュラムの中でも、実習室を最大限に活かすことが出来る工夫をしており、教育内容もレベルアップした。</p> <p>全クラスにスマートVボードを導入し、担任にはiPadを配布。板書の時間や説明を事前に資料や説明動画を作成することによって合理的かつ能率的に授業の進行が出来た。</p> <p>サロン実習や国内研修等、多くの研修を行える環境が整えられており、教育内容は充実している。</p> <p>防災訓練の際、消防に立ち会ってもらい総評をいただいている。全校生徒が一度に防災訓練をしている事は防災について意識が高い。オリエンテーションの際も消防署長から講話を頂いている。</p> <p>全校生徒の本校からの距離を把握し、距離に応じた行動計画を策定した。教室には災害マニュアル、ヘルメット、メガホン、笛を常備。</p> <p>学生に対して災害時に使用できる防災対策用品セットを配布している。</p> <p>定期的に学校周辺の見回りを行い、地域の安全やトラブル回避に努めている。</p>	<p>概ね適切に対応している。今後も更なる向上に努めて頂きたい。</p>	<p>授業を行う上で、更に良い教育環境を整備していく。</p> <p>スマートVボードをより有効活用するためにアプリの研究や編集テクニックの経験を積んで、授業だけでなくホームルームの伝達や学年ごとの共有ツールとしても活用していく。</p> <p>SNSで学生が発表できるように学校のInstagramでメンションを促し活発に動かしている。</p> <p>行事などの場面でもスマートVボードを活用し、地上デジタル放送による校内中継や、インターネットを使ったZOOM中継など時代に則した活用方法を見出していく。</p> <p>フォトシューティングクラブ等の活動を活発にし、学生達の発表の場を豊富に用意していく。また、本格的な機材に触れ就職した後にも生きる経験を積めるような環境を作っていく。</p>

基準7 学生の募集と受入れ

自己評価	学校関係者評価	改善方策
<p>高等学校への情報提供は、進学相談会への参加、また高等学校教員には個別訪問を積極的に行っている。学生募集に関しては、適切に行っており、学校案内やパンフレット・ホームページには特色を分かり易く標記している。また、体験入学や入試説明会を月2回以上行っている。</p> <p>入学選考基準は、規定で明確に定めている。選考や合否判定は適切に行っている。入学選考の実績に関しては、クラウドシステムで管理し、学力に応じた指導を入学後行っている。</p> <p>学生の能力及び経済力を考慮した学納金を算定している。徴収金額はすべて明示している。</p> <p>入学辞退者に対し、授業料等の返還は学則・募集要項で明示している。</p> <p>高等教育の修学支援新制度の認定対象校としての登録を受けている。(令和4年度)</p>	<p>適切に対応している。学生募集として動画やオンラインなどITを活用し、LIVE配信ができる環境が整っている点は評価できる。</p>	<p>ホームページにTwitter、Instagram、TikTok、Facebookなどの導入や、動画撮影を積極的に行なっていく。</p>

基準8 財務

自己評価	学校関係者評価	改善方策
<p>財務基盤については、応募者数等の数字の把握は毎年行っており、収支のバランスはとれている。学校の中長期的な財務基盤は安定しており、資金収支超過額及び事業活動収支超過額はプラスとなっている。</p> <p>法人運営に係る財務分析は行っており、教育研究費比率、人件費比率については、適切な数値になっている。資金収支やコスト管理については部門ごとに月次で適切に行っている。</p>	<p>適切に対応している。今後も更なる向上に努めて頂きたい。</p>	<p>財務基盤の安定を保ち、資金収支および事業活動収支も、プラスを維持しつつ、好調な学生募集と効果的な教育活動を実現できるような財務活動を引き続き押し進めていく。</p>

<p>教育目標との整合を図って予算編成を策定している。編成過程及び決定過程は明確になっている。</p> <p>予算の執行計画を策定し、乖離しないよう適切に補正措置を行っている。</p> <p>予算執行にあたってのチェック体制は学園本部で行っており、適切な会計処理を行っている。</p> <p>監査は私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に実施し、理事会等で報告している。</p> <p>更に監査法人による監査を年2回実施している。</p> <p>財務情報においては、平成26年度より本校のホームページにおいて公開している。</p>		
--	--	--

基準9 法令等の順守

自己評価	学校関係者評価	改善方策
<p>関係法令等を遵守し、適切に学校運営を行っている。また、必要な諸規定を整備している。</p> <p>個人情報保護に関する規程や、情報機器使用についての規定は整備している。</p> <p>個人情報をはじめとする機密情報について、セキュリティの強化や、職員への啓発および教育を引き続き行っていく。</p> <p>自己点検・自己評価は組織的に、毎年度行っており、毎年度、自己点検評価報告書を作成し、学校関係者評価委員会を行い、その結果をホームページで公表している。</p> <p>学校の概要、教育方針、教育内容、学校行事等については、平成26年度よりホームページにて公開している。その他の公開情報についても、同様にwebで公開している。</p>	<p>適切に対応している。今後も更なる向上に努めて頂きたい。</p>	<p>社内における管理体制の強化や規定の作成等、更なる整備を進めていく。</p> <p>個人情報保護規定に基づく校内システムの構築を推進していく。</p> <p>情報の公開については、発信できる内容は、SNS等を活用して関係者へ有益な情報を発信していくとともに、一方で保護されるべき情報の管理についても、コンプライアンス体制を強化し対応していく。</p>

基準10 社会貢献・地域貢献

自己評価	学校関係者評価	改善方策
<p>開校当時から社会貢献やボランティア活動に対して意識が高く、新宿区で毎月行われている「ポイ捨てキャンペーン」には、当初から欠かさず参加している。</p> <p>充実した施設・設備の学生サロンの通して地域の方にも積極的に開放することで、地域とのコミュニケーションも生まれ、社会貢献に繋がっている。</p> <p>教職員の声ばかりでなく学生自身からも提案があり、「エコキャップ活動」も行っている。</p> <p>高校の職場体験の機会を提供している。</p> <p>消防庁の火災予防運動に協力しており、感謝状を東京消防庁より授与されている。</p>	<p>適切に対応している。今後も更なる向上に努めて頂きたい。</p>	<p>都立松沢病院からボランティア活動に対して、感謝状を頂き、今後も患者様の療養生活の質の向上に努めていくが、本年度はコロナウイルスの影響で実施できない状況である。</p> <p>選挙権年齢が18歳以上となり、校内にポスターの掲示や政治セミナーを行い投票に行くよう各クラス促していく。</p> <p>各種ポスター掲示により、社会貢献活動に参加を促している。</p>